

教育書・人文書・歴史書 ご担当様

2024年12月 下刊行
旬 予定

山川出版社
新刊のご案内

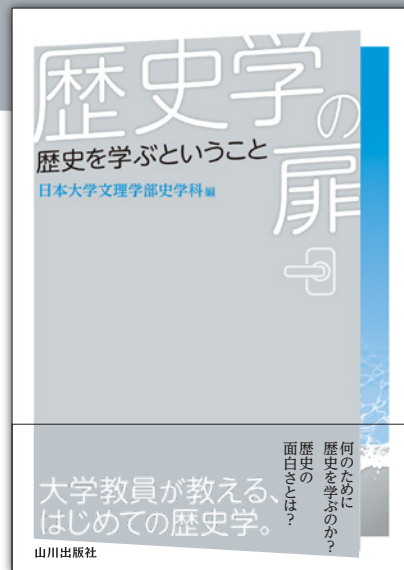
大学教員が教える、はじめての歴史学。

歴史学の扉

歴史を学ぶということ

日本大学文理学部史学科編

関幸彦 武井紀子 田中大喜 小川雄 古川隆久 福島恵
粕谷元 伊藤雅之 土屋好古 浜田晋介 山本孝文 平野卓治



何のために歴史を学ぶのか？歴史の面白さとは？

日本大学文理学部史学科の教員たちが、これから歴史を学んでいこうとする方に、その学びの最初の一步となるような話をお届けしたいという意図から執筆。教養としての「歴史」から学問としての「歴史学」への入り口となるように、またその学びの意義や魅力を知ってもらえることをめざした一冊。

はじめに (伊藤雅之)

第I部 歴史学の扉 (関幸彦)

第II部 日本史・世界史の群像 (代表編集 関幸彦)

第III部 歴史学への誘い

- 律令制から日本古代史を考える (武井紀子)
- 中世武家領主支配の学際的調査研究への招待 (田中大喜)
- 徳川將軍論から見た近世日本 (小川雄)
- 日本近現代史—研究の特徴と面白さ— (古川隆久)
- ソグド商人の宝探しとユーラシアの東西交流 (福島恵)
- オスマン帝国はいつ滅亡したのか (粕谷元)
- 西洋前近代史—その学びと目指すもの— (伊藤雅之)
- ソ連社会主義体制下のロシア・ソ連史—ロシアにおける第一次革命研究の変遷— (土屋好古)
- 考古学から歴史を考える (浜田晋介)
- 考古学から社会を考える—古代国家と古墳時代— (山本孝文)
- 文化財とは何か—その特徴と保護・継承— (平野卓治)

おわりに (福島恵)

大学教員と史学科への進学を考えている高校生との問答形式で、歴史を学問するということがわかるようにした。

2022年度から高等学校の新課程で「歴史総合」という科目が実施され始めたことを踏まえて、日本と世界とのつながりを意識した「歴史」を大枠で捉えることができるようにした。

日本大学文理学部史学科の教員の各専門分野の面白さがわかるようにした。

A5判 並製 208頁
ISBN:978-4-634-59234-6 C0020
定価1,980円 (本体1,800円+税)

| ご注文冊数 | 番線印 |
|--------------------|-----------|
| 冊 | |
| 新刊受注締切 12/11(水) | 【ご担当名: 様】 |

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。



山川出版社 TEL:03-3293-8131

※ご注文は、右記まで FAX:03-3292-6469
FAXをお願い致します。